



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

https://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

No.682 2023.6.14

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

エネルギー・食料品等価格高騰支援給付金

北区
独自に

対象を広げ給付

20日より開会の北区議会第2回定例会に補正予算を計上

申請書類は29日より対象世帯に順次発送されますので、必要事項を記入

予算を計上します。
20日より改選後初めてとなる北区議会第2回定例会が開かれます。今議会に提出される補正予算で北区は、エネルギー・食料品等価格高騰支援給付金（一世帯あたり3万円）の支給対象を独自に広げます。

均等割のみ課税世帯などへ拡大

同給付金は、国の制度設計では住民税非課税世帯が対象ですが、北区ではこれに加え、均等割のみ課税世帯、課税者の扶養親族等のみ世帯、家計が急変し非課税世帯と同じ水準に収入が落ち込んだ世帯（あわせて約7000世帯）にまで広げ、2億1000万円の予算を計上します。

党区議団の申し入れが実る

し返送して下さい。申請受理後、概ね1カ月で給付金が支給されます。

日本共産党北区議員団は、5月に山田区長に対し、価格高騰支援給付金の対象を拡大するよう要望していました。今後、200億円に積み上がった財政調整基金も活用し、さらに対象を広げるよう求めていきます。（のの山けん）



区長に申し入れる日本共産党区議団 =5月22日

区議会第2回定例会 日本共産党北区議員団の本会議質問



代表質問

6/20

(火)11:20頃

ながいともこ 議員



個人質問

6/21

(水)11:00頃

のの山 けん 議員



個人質問

6/21

(水)14:00頃

宇都宮 ゆり 議員

北区議会第2回定例会に提出される 補正予算の概要

区議会第2回定例会では補正予算で、表面で紹介している価格高騰支援給付金の拡大以外にもさまざまな区民要望が実現する見通しです。その一部をご紹介します。(のの山けん)



学校給食費無償化の 拡大・恒久化

14億4412万円

幼稚園等の給食費無償化を本年4月に遡及した上で、恒久的事業として実現。また、2023年4月から既に実施している区立小・中学校の給食費完全無償化についても恒久的事業として位置づける。



高齢者補聴器 購入費用補助の準備

944.5万円

ヒアリングフレイル対策への取り組みとして、北区医師会との調整を進め、高齢者補聴器購入費用助成事業の開始に向けた準備を進める。助成事業の開始は、2024年度を予定している。



福祉施設・医療機関 への給付金支給

1億3460万円

特に影響を大きく受ける特養ホーム、老健施設、病院など医療機関等に対し、エネルギー・食材費高騰の負担軽減を目的に、国による地方創生臨時交付金を活用した区独自の給付金を給付する。



フリースクールの 授業料補助

1497万円

東京都から保護者への直接補助（月額2万円）に、区独自に月額1万円を上乗せして授業料を補助する。また、小中学校に専門の支援員を配置し、校内フリースクール（居場所づくり）を設置する。



自転車用ヘルメット 購入補助

4457万円

自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されたことにより、区内自転車店舗等の協力を得た上で、ヘルメット購入費助成事業を開始する。なお、小学生以下と高齢者には、区独自に補助額の上乗せを行う。



区内共通商品券 発行・プレミアム率拡大

2400万円

高齢者向け（9月販売）、子育て世帯向け（12月販売）の区内共通商品券発行を5000冊から7500冊に、プレミアム率を15%から25%に拡大し、消費喚起のほか、商店街の活性化を図る。